

# 教育通信

24年度 第11号  
通巻1809号

発行所：  
高知県教職員組合  
〒780-0850  
高知市丸ノ内2-1-10  
TEL088-822-4135  
FAX088-823-2355

全教職員  
配布  
読んでね

県教組HPは

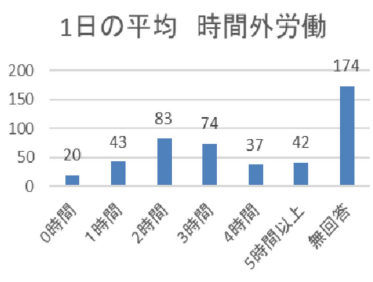
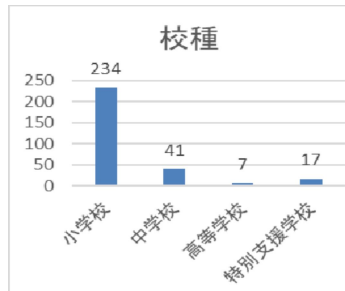
↓こちらから



## 女性教職員アンケート・男性育休アンケート ご協力、ありがとうございます。

いまだ深刻な実態が明らかに

24年7月に「女性教職員の権利と母性保護に関するアンケート」と「男性の育休に関するアンケート」を実施しました。「女性教職員のアンケート」は、小・中・高・特支から303名（小学校234名、中学校41名、高等学校7名、特別支援学校17名、他4名、23年376名）の回答が集まりました。「男性の育休アンケート」は、小・中・高・特支から25名（小学校17名、中学校3名、特別支援学校5名、23年38名）の回答が集まりました。今年度も、WEBアンケートを併用して行いました。



### 1. 時間外労働 まだまだ課題

「1日平均3時間以上」が24%、「4時間以上」が12%、「5時間以上」が14%と、現場の多忙さが変わっていないことが分かります。自由記述の中で圧倒的に多い改善策として「人員増」で、これこそ数年変わっていません。人員不足が深刻であることが分かります。国や県に対しての要望としては、「人員確保のために指導主事を現場に戻してほしい」

「年次研の簡素化」、「改善プラン、研修報告や実践報告等の見直し」、「業務内容の精選（アンケート、調査、提出物、研修）」、「1時間外労働が長くなる原因の把握と分析」、「現場の実態を把握し、県に伝え改善を働きかけてほしい」等、現場からの切実な声があがっています。

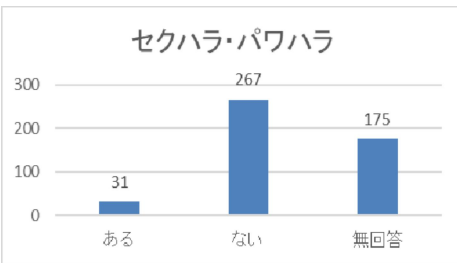
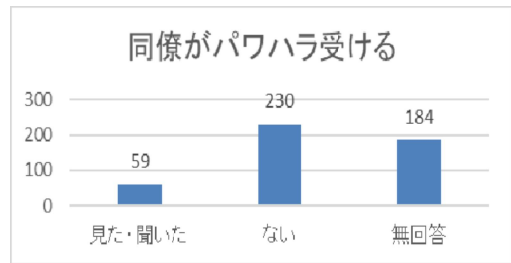
このアンケート結果から、一人が背負う業務内容の多さが伺えます。人員を増やすだけでなく、業務内容を見直し、現場の教職員が心のゆとりを持って子どもたちと関わることを

「改善プラン、研修報告や実践報告等の見直し」、「業務内容の精選（アンケート、調査、提出物、研修）」、「1時間外労働が長くなる原因の把握と分析」、「現場の実態を把握し、県に伝え改善を働きかけてほしい」等、現場からの切実な声があがっています。

### 2. 管理職は ハラスメントの 自覚がない？

できる環境を整えることが必須です。現場の仕事量が減ったという実感は少ないのが現状で、真の意味での改革にはまだまだ至っていないことが分かります。

セクハラ・パワハラも無くなりません。自由記述からは、「校長の思う通りでない動きや違う考えだと校長室で叱られる」、「ミスは許さないと威圧する」、「決済をもらいたいが忙しいと言ってすぐに対応してくれない」、「教職員の前での大きな叱責を受けた」、「校長室で長時間にわたって指導される」などが上がっています。これらは、管理職本人が

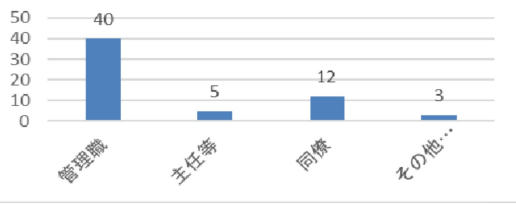


いる自覚がないというところが大きな問題です。また、苦情窓口に行ったが「気にし過ぎてはないか」や「そう感じた時に、自分で本人に言ってみればいい」といったコメントをされ、相談できるどころか

### お城下

今夏行われる採用審査の概要が発表に。5月31日一次審査。関西会場もそのま▼「関西地区の日程とは違う」らしいから、特に小学校教諭は高知会場以上に関西会場で受審する人が多い現実。その結果、模擬試験的、または滑り止めに扱われ、今夏も「辞退者7割以上」は想像に難くない▼発表はされていませんが、2年連続行われた12月の特別選考は多分今年も実施へ。辞退者続出で採用予定数から足りなくなつた分を、ようやくそれで補うことになるのかも▼着任していれば採用審査の勉強できない、一次審査免除の条件には該当しない、教職教養免除では一次は通らないかもという不安も、学校行事でもそもそも受審が厳しい等々▼高知県の学校現場で頑張ろうとする臨教の悩みは深い！でも、その臨教に支えられている学校現場。その気持ちを汲んだ採用制度に！組合は声を挙げ続けます。(和)

誰から受けたか



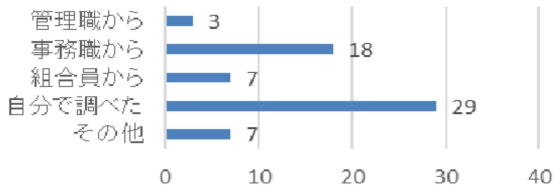
ハラスメントの上塗りや声をさされた感じだという声もありました。アンケートからは、「管理職評価」・「学習会」・「第三者委員会」・「教育委員会によるアンケート」を求める声が上がっており、特に相談窓口については現在県の教育委員会が設置している「内部相談窓口」と「外部相談窓口」とは違う「完全第三者外部の相談窓口」を設置してほしいという声が多く上がっています。

### 3. 権利の周知もまだまだ 妊娠・出産・育児

「どのような方法で権利を知ったか」という問いに、「事務職から」が28%、「自分で調べた」が45%、「管理職から」は5%でした。「管理職との面談はあったか」については「なかった」という人が17%もいて、目標シートの面談の際のチェック項目に入られていないにもかかわらず実施がまだ徹底されていないことが分かります。ネット環境が進み、自分で調べたという人も増えてきていますが、逆にこれは調べなければわからない状況にあるということなので、みんなに平等に権利を知らせる必要があると考えられます。

自由記述には、「妊娠したら保護者の理解が得られるような啓発や、産休に入るまでの間授業時数を減らせる手だてがほしい」、

権利を知った方法



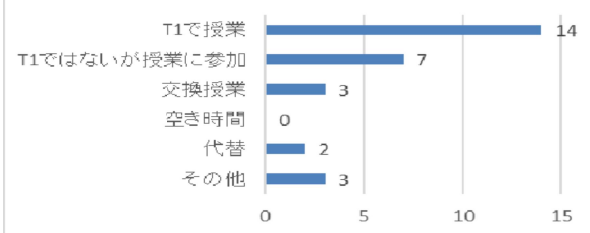
「不妊治療をしていながらの配慮がまだ足りないと思う。体育の授業は不妊治療中の先生にとつてはかなりしんどい」、「不妊治療は長い期間がかかる。急な休みもあり、サポート休暇だけでは間に合わない。妊婦と違う。そこまで配慮してもらえず体調がよくなくても休むことができない」、他にも、「介護休が取りやすくなるように」、「更年期障害についての理解を」という意見がありました。「定年延長・再任用」

「不妊治療をしていながらの配慮がまだ足りないと思う。体育の授業は不妊治療中の先生にとつてはかなりしんどい」、「不妊治療は長い期間がかかる。急な休みもあり、サポート休暇だけでは間に合わない。妊婦と違う。そこまで配慮してもらえず体調がよくなくても休むことができない」、他にも、「介護休が取りやすくなるように」、「更年期障害についての理解を」という意見がありました。「定年延長・再任用」に関することへの要望では「働きや責任は何か変わらないのに給料が下がるのはおかしい」という意見が多く上がっています。定年延長や再任用を考えると、この問題を解決しなければ教員減にますます歯止めがかからなくなると考えられます。

### 4. 遅れている 男性の育休取得

自由記述には、「育児休業など検討した時期もあるが、いざ休暇を取るとなるとどこか躊躇してしまう。金銭面、職場のこと、その他の状況など休みを取りたいが色々な要因を考えてしまう」、「男性が育児休業を取得できることはみんな知っていると思いますが、周りの理解が追い付いていないと感じます。夫婦で休みを取る必要があるの？という周囲の思いがひしひしと伝わってきて取りづらいのではないかと感じます。」

妊娠時の体育授業



### 5. まとめ

自由記述には、「復帰しても業務量は変わらないので、我が子との時間も取れない。無理をしながらも体調を崩してしまい、辞めてしまおうと考えた。それくらい両立が難しいです」など、わが身を削り、家庭をも犠牲にして働いていることがうかがえる記述が多く寄せられました。生命の誕生という喜ばしいことにも関わらず、職場に負担をかけて申し訳ない、この先子育てしながら仕事を続けていけるのだろうかなど、安心して出産・育児に向かうことができていないことがわかります。育休復帰される方が増えていくと考えられる今、早急に産休

前の方、育休復帰後の方の業務改善や業務の振り分けへの配慮を求めているかねばなりません。男女関係なく安心して子育てができる環境を整うように人員配置や意識の向上について国や県に働きかけるとともに、職場では管理職がしっかりと教職員の権利を理解し、温かい職場づくりに努めることが必要です。9月の人事委員会への要請行動と11月の県教委との確定交渉では、今回のアンケートにある現場の声を届けました。また、集計結果から浮き彫りになった問題をまとめ、要求書として県教委に提出。それに基づき、女性部の県教委交渉(2月13日)に臨み、働きやすい職場づくりに向けて要求実現にとりくみます。これからは、女性保護の観点から、制度の充実と権利の拡大に向けて運動を続けていきます。ご協力をよろしく願います。

# 県下各地でも要求実現に向けて運動中

高知県教組では、県教組本部はもちろんです、県下各地の郡市高教組・市町村教組・専門部・職場組合などが、1・2面で紹介したようにアンケートを採ったり、各職場代表が会議で集まって話し合ったりして、学校現場に寄り添った要求をまとめ、その実現を求めて、市町村教委や教育事務所、時には学校長などと話し合っています。その一つをご紹介します。

## 高岡教組の事務所交渉の様子

高岡教組は、12月6日(金)、中部教育事務所との交渉を行いました。「現場の声を聞き、改革、上申をしていただきたい」とあいさつした後、現場の声を届けました。

働き方改革に関連して、女性部アンケートに書かれていた勤務時間を「自主的」に短く入力している実態については、「あつてはならないこと。そのような実態があれば情報提供してほしい」という回答でした。研修等の提出物の軽減については、「現場の実態を考えていきたい」

との回答でした。

今年度始まった単元構想表については、「強制していないがお勧めしている。若年の先生が増える中教材研究をしていく上で力量をつけてもらいたい。負担軽減につながるような取組をしたい。2・3年続けるので活用していただきたい」とのことでした。組合側からは、「単元を構想することは大事だが、それを作ることで目的化すれば本末転倒であるし、提出となると体裁を整えるための時間が必要になってくるがそれにかかる時間をど

のように作るか等も課題である」ことを伝えました。

学テに関しては、毎年「学テは学力を測る指標の1つ」というスタンスで回答をもらっているが、学テの点数が低いと訪問があったりすること、現場では、授業改善よりも過去問や過度の対策をしていること、学テのために児童を呼び出して指導するのに補教には入ってくれない管理職がいることなど、学力向上ではなく点数を上げるための対策になっている実態を伝えました。この実態に対して「目的化しないように発信する」という

回答がありました。

授業の在り方などについて、指導主事の助言が現場の実態に合わないことで授業者や学校が困っている実態については、「指導主事は現場の教員が修正しやすいうい方をすべきである」との回答でした。

これに対して、組合側からは「指導主事が、自分がやったことでもないことに関して、ああでもないこうでもないという現場はいっぱいっばいになつてしまうというのを肝に銘じてもらいたい」と念押ししました。ハラスメントの問題については女性部アンケートをもとに現場で起きていることを伝えました。また、数年前から「具体的事例をあげて(管理職を)指導してほしい」という私たち組合の要求に「学校訪問時に話をしている。センターや教職員課でも研修をしている」との回答でした。

窓口の設置については「県教委に伝える」との回答がありました。

その他、再任用の待遇改善、授業改善プランや初任研の負担軽減、教職員定数、計画的な採用等について、県に上申することを要求しました。

また、管理職の学校運営に対しては「所属長評価」を県立だけでなく公立小中学校でも実施してほしいことも重ねて要求しました。

高岡教組では毎年中部教育事務所に現場の声をとどける取組をしています。今後も現場の声を届けると同時に、「現場で声を上げる」ことも大切にしながら活動していきたいと思っています。

(高岡教組 樋口 弘恵)

### ★あなたもぜひ組合に

高知県教組では、様々な不満を要求に結びつけてこのように運動中。ぜひあなたも組合に加入を!

## あなたも参加して学びませんか!

県教組事務職員部主催 学習会

### 「教師の自腹」を通して 学校財務を考える!?

～今まで公に語られることになかった

教職員の自己負担に今こそスポットを～

日時 3月1日(土) 13:30~16:00

場所 高知城ホール2階 \*参加費無料

講師 福嶋尚子さん・柳澤靖明さん

(隠れ教育費研究室 主宰)

教職員のための自動車保険は



## 全教自動車保険

教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を→

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813



高知県内を流れる1・2級河川⑪

1		2	3		
		4			5
6	7			8	
9				10	
			11		
12					13

【タテのカギ】

1. 昨年の流行語大賞、○○○○
2. ウグイスの○○
3. 読めるかな「麗」
5. 日が暮れてすぐの頃
7. 数えること
8. 学校の○○○○の花壇でチューリップの芽が!

【ヨリのカギ】

1. 鬼は外、○○○○
4. モノの表面
6. 「く以外のものではない」を言い換えること?
9. 同じ学校で入学・卒業が同じ年度であること
10. 連体詞で「誰でもよく知っている」

- は「ず」という意味  
 11. さくら肉と呼ばれるのは?  
 12. 教員不足の中だけで、学校にはもつと○○○が欲しいのが現場の願い  
 13. くつつきワード  
 さ○○、か○○どり、○○き

か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は3月28日(金)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただきます。

**【12月号の当選者】**  
 「やすだ川(安田川)」でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございます。

ぼぼさん (伊野商業)  
 れいれいさん (市立特支)  
 あつきーさん (室戸高)

【みなさんの声より】

○とある学校の不祥事防止研修は行き過ぎていないだろうか。教員の人権も大切にしたい。  
 ○年長児を迎える1日入学。「年長さん

が楽しめる内容を考えよう」をテーマに学級会で計画し、担当グループを決め、運営も子ども達に任せてチャレンジしてみました。学習発表会で発表した劇&ダンスをノリノリで披露した後は、「だるまささんが転んだ」で交流。アレンジ版「だるまささんの1日」も飛び出し、「だるまささんが笑った」「だるまささんが踊った」など、鬼の指示に従って笑ったり踊ったり。体育館中に笑顔が弾け、無邪気な姿にほっこりしました。年長児の手を引き、優しくリードする1年生の姿が何とも頼もしく、成長を感じ嬉しいひとときになりました。

ば、土佐酒「南」! 大好きです! 昨年は娘の野球の全国大会で石川県へ。金沢市内のホテルに宿泊し、娘たちの活躍に大興奮でしたが、郊外のグラウンドへの移動中、まだ橋がずれていたりと、地震の爪痕が残る町の様子を目の当たりにしました。復興はまだまだだと感じた夏でしたが、昨年の地震から早一年。元旦には石川に想いを寄せて過ごしました。地震の怖さは、この時期、特に感じています。災害時にはまず命を守り、みんなを助け合い、辛い思いをする人が少しでも楽になりますように。

当校はこの12月で2名が退職され、新しい先生も来られないまま新学期を迎えようとしており、新学期がどのような世界でドキドキしてきます。人員が減り寂しい気持ちもありますが、子どもたちの元気に負けないよう3月の終業式まで、乗り切りたいと思います。

○やすだ川には毎年おじいちゃんか鮎を釣りに行っています。もう80代ですが、今年も釣りに行って、釣れた鮎をごちそうしてくれました。年齢的にも少し心配ですが、おじいちゃんか鮎釣りを毎年の楽しみにしているの、来年は自分も一緒に釣りに行こうかなと密かに思っています。

○寒さが厳しい時期ですが、インフルエンザやコロナ対策で校内は扉を開放している所が多く、朝は寒くてブルブルしています。早く3月にならないかと思う、今日この頃です。

○初めて応募します! 清流安田川、といえ

○組合の主張を職場で話す人多くの人が納得。定数増を早く実現したいです。



メールはこちら

